

## 令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山口県

行事名称	第67回文化財防火デー西長寺消防訓練
実施期間・日時	令和3年1月26日10:30~11:30
実施場所	西長寺(周防大島町大字日見973)
主催者	周防大島町教育委員会

## ■実施内容

## 訓練の想定

1月26日(火)10時30分、西長寺護摩堂に隣接する空き地のたき火が強風にあおられ、火が移りそうな想定で始まり、西長寺関係者より出火通報、初期消火、文化財資料の搬出等を行い、続いて参加機関で消防活動を展開、延焼防止に成功、訓練を終了する。

## 訓練の内容

西長寺住職・坊守による通報、文化財(模擬品)搬出、初期消火、および消防署・消防団による放水訓練。

## 参加者及び役割分担

西長寺住職・坊守(3名):通報、文化財(模擬品)搬出、初期消火  
 柳井地区広域柳井消防署(11名):放水訓練、全体統括  
 周防大島町消防団大島支部第13分団(10名)・同本部分団(5名):放水訓練  
 周防大島町大島総合支所(1名):現場支援(取水準備)  
 周防大島町政策企画課(2名):広報、取材  
 周防大島町教育委員会(4名):現場立会、進行司会

## 特に工夫した点

臨場感を出すために発煙筒たき、文化財搬出の模擬品として段ボール箱を準備した。また、参加者数の制限・訓練時間の短縮を行うとともに、当日の訓練参加者にはマスク着用を促して、感染症拡大予防に努めた。

## 問題点・課題

所在地が集落から離れており連絡路も狭く大型車の往来が困難な場所にあるため、地元住民の協力と初期消火が重要である。また文化財が巨大で運び出すことが困難なため、日頃から消防設備の点検や、可燃物を火元に置かないなどの防災対策が重要。

## その他

コロナ過のような緊急事態における訓練はどうあるべきか考えさせられた。当自治体は特に高齢化率が高いため、訓練参加者の安全をどのように守ったらよいか、今後も引き続き関連部署と協議・連携しながら検討を進めたい。

## 訓練風景

